

なかなか



庄内平野の
まんなかで
なかなかやります
おらほのまち

三川町



だから空がとっても広いまち

庄内平野のちょうど真ん中で

三つの川が流れるまち

山と海はないけれど、田んぼがたーくさんあるまち

そして、週末になるとイオン周辺がにぎわうまち

そんな、どこにでもありそうな、地方の小さなまちに

今までどんな「時」が流れ、「今」につながってきたのか

参考文献：

『三川町史上下巻』平成21年／三川町発行

『三川町ふるさと再発見 三川探訪』平成4年／三川町発行

『三川町の文化財』平成7年／三川町発行

『図説 鶴岡のあゆみ』平成13年／鶴岡市発行



三川町の

昔と今を

みつける旅へ

シュッシュッGO!!

人口約1万人1000人。
おとほの町の昔って
どうだったのかな

江戸時代の前って
人は住んでたのかな



そもそも

いつから三川エリアに

人が住んでいる？

↓平安時代には

縄文・弥生時代

山麓での採取・狩猟生活

庄内での稲作開始

古墳・飛鳥時代

奈良時代

712年

出羽国誕生

大和政権の政策で

移住してきた人々が

庄内平野を開拓

今から約3万8千年前、大陸から動物を追って日本にやってきた旧石器時代の人たちは、次第に各地の山麓に定住し、約1万年もの間、山の恵みで暮らしていました。いわゆる縄文時代です。庄内地方でも鳥海山や月山などの山麓で、この時代の遺跡が見つかっています。

その後、庄内の平地にも人々が暮らすようになり、奈良時代には大和政権が出羽国を建国。庄内平野の開拓と、それ以前から住んでいた人々（蝦夷）に対する防衛を目的に、北陸や東国などから人々を柵戸として移住させました。以来、律令国家体制が整えられていった庄内では、人々が田地を広げ、掘立柱建物に住み、租・庸・調を納税しながら生活をしていました。

三川エリアにおいても、平安時代のもので推定される助川遺跡や三田遺跡（横山）が発掘されています。北国の厳しい環境の中、集落を築いていった人々の姿が思い浮かびます。

出羽国の産物の中心はこの頃から米が主流！



779年

横山八幡神社創建

源義家ゆかりの神社I

MAP 8

871年
鳥海山噴火



1189年
奥州合戦

1336年
南北朝の動乱



天然記念物の巨木
ハルニレは必見!



平安・鎌倉時代

莊園「大泉荘」に属し、生きる人々

1087年?

青山神社創建

源義家ゆかりの神社II

MAP
14

歴史エピソード

前九年合戦の21年後に陸奥国で起きた後三年合戦(1083-87)にまつわる逸話です。源義家が戦地に赴く際、常陸国(茨城県)の青山神社で戦勝を祈願しました。帰路は庄内に立ち寄り、青山神社を勧請。その村を青山と呼ぶことにしたといいます。



八幡神社厨子
狛犬
最上義光寄進状
町指定文化財が
3つもあるよ!

歴史エピソード

豊前国(九州)の宇佐八幡を勧請したといわれる神社。平安時代後期、陸奥国で起きた前九年合戦(1051-1062)で源義家が戦地に赴く際、横山八幡神社に泊まって戦勝を祈願し、鷹の羽の矢2本と太刀一腰を奉納したと言われています。そして戦勝後には社領六石七斗を寄進とも。ただし『三川町史』によると、創建は16世紀初期との見方が有力のようです。

頼朝軍によって滅ぼされると、

田川氏も念珠ヶ関から攻め入ってきた頼朝軍と戦い、討ち死に

してしまいます。その後、鎌倉幕府の地頭として大泉荘に赴任

した武藤氏は、戦場となった大泉荘の荒廃ぶりがひどくて年貢

どころではない旨を幕府に報告しています。奥州合戦(おんしゅうがっせん)

大きな戦だったかわかりますね。室町時代となり、南北朝の動

乱が起こると、その混乱は庄内にも及びました。武士たちは北

朝方と南朝方に分かれ、生き残るための主選に必死。結果的に

大泉荘は北朝方の上杉憲顕に与えられ(1361)、武藤氏が

現地管理をしていました。

室町・南北朝時代

MAP
6

1425年
泉蔵寺創建

歴史エピソード

楠木正成の子孫・楠木正勝（傑堂能勝）が創建したという逸話のある曹洞宗の古刹。寺の菊水紋は楠木家と同じとか。ここを拠点に三川に曹洞宗が広がり、泉蔵寺は後に横山城主武藤氏の菩提所にもなりました。



この頃、三川に曹洞宗のお寺が増えて、人々に禅宗が広まりました。

MAP
3



横山の光星寺
(1465)

MAP
1



助川の福乗寺
(1438)

MAP
2



横内の長泉寺
(1458)

MAP
29

山の神のケヤキ
山の神社

1625年頃



1512年頃

横山城址

MAP
7



歴史エピソード

1588年
十五里ヶ原の戦い

戦国時代、横山は広大な湿地が広がり、平城だった横山城は天然の要塞に囲まれて守りやすく、攻められにくい城だったといわれています。三川には他に「助川館」という館があり、館主の助川図書頭を頭とした助川党という地侍党があったとの説も。また現在の玉衝寺（ぎょくがんじ／三川町青山）がある地には「青山館」があり、覇権争いに巻き込まれ焼失したと伝えられています。今となっては想像もできないほどの戦乱が、三川の地でも起きていたのです。

庄内に戦国時代ってあったの？
↓ありました

応仁の乱が始まった1467年から16世紀末までの戦国時代。庄内にも各地に小さな城が築かれ、三川では横山城を武藤氏家臣の押切備前守が統治していました。しかし砂越氏が最上川の北側で勢力を広げて武藤氏と対立し、また横山城が横山大膳に奪われるなど、庄内全体が戦乱の時代に突入します。結果的に武藤氏が庄内を制圧しますが、その勢力を最上地方に広げようとしたことで、最上義光との間に新たな対立が始まりました。そこに重臣の裏切りによる武藤氏自刃や、越後の上杉氏との絡みも加わり、1588年、上杉氏と最上氏の代理戦争といわれる十五里ヶ原の戦いが勃発。横山城はこの時に焼失したといわれています。

その後庄内は一時上杉氏の支配下に置かれますが、1600年の関ヶ原の戦いで徳川軍が勝利したことによって、庄内は徳川派だった最上氏の領地に。こうして90年ほど続いた庄内の戦国時代は終わりを告げました。

1601年
庄内全域が
上杉氏から
最上氏へ

最上勢による
上杉派の残党狩り、
容赦なし

1622年
酒井家による
庄内藩成立

江戸時代

三川は庄内藩と大山天領に

最上氏による22年間の統治は、

庄内地方の大規模整備の時代でした。その一つが赤川の大改修で、水路が安定した赤川からは青龍寺川や中川堰が引かれ、庄内平野の開発が進みました。

最上義光が没するとお家騒動が起こり最上家は改易へ。代わって1622年に庄内に入部したのが酒井忠勝公でした。庄内藩の始まりです。この頃、三川では押切新田村や成田新田村など新たな村が創設されました。1647年には新たに誕生した大山藩に角田二口村、善阿弥村、東沼村、尾花村、天神堂村が所属。この5村は大山藩が幕府直属の天領となつてからも大山領としての歴史を歩きました。

1868年、戊辰戦争の戦火が庄内にも波及。村々から多くの農兵が徴発され、訓練を経て戦場に派遣されました。三川にも84人という人数が割り当てられ、人々が赴いたとの記録が残されています。



歴史エピソード

子どもと遊ぶのが大好きな山の神が祀られているというお堂は、お産の神様・夫婦の神様として信仰されてきました。その隣に樹齢400年超と推定される巨大なケヤキがそびえていて、町のシンボルになっています。

明治時代

横山村、東郷村、押切村の3つの村へ赤川に初めての橋が架かる

1868年9月、庄内藩が新政府軍に降伏。同年、明治時代が始まり、明治22(1889)年に横山村、東郷村、押切村の3つの村が自治体として確立します。

一方、地内を流れる赤川は、それまで城下町防備が優先され、橋が架けられませんでした。鶴岡と酒田をつなぐ横山の街道にも橋がなく、唯一の交通手段である渡し船の船着場はとても繁盛しています。

1868年
庄内藩が
戊辰戦争で降伏



横山の菅原家が3代にわたって蛾眉橋づくりに貢献!

この頃の橋の長さは145mで庄内一!

した。しかし大水で渡れないことがよくあったため、横山の多田誠成、素封家・菅原美静、大井治郎兵衛が橋工事を着工し、明治6(1873)年に完成。形が美人の眉毛に似ていることから「蛾眉橋」と名付けられました。その後、美静の子・美継と孫・美頭が、県による架け替え工事が行われる明治43(1910)年まで、自費で橋の修繕工事などを続けました。

1873年

初代蛾眉橋完成

MAP 5



当初の読み方は「まゆげばし」。今は「がびきょう」!

1889年
三川エリアに
3つの村が誕生

1893年

加藤セチ誕生

女性科学者のパイオニア



1893~1989。押切村の大地主加藤家の生まれ。北海道帝国大学卒業後、理化学研究所に入所。女性初の主任研究員として活躍しました。そのため現在、同研究所には、女性研究者のための「加藤セチプログラム」があります。

三川町の
名誉町民
第一号！

大正時代

明治以降、乾田馬耕の導入などで飛躍的に発展した庄内の米づくりに。稲の品種改良も明治・大正期に盛んに行われ、三川エリアにも何人もの民間育種家が登場し、新品種を育成するなど、庄内米の発展にとっても寄与しました。
養蚕業も三川に広まり、特に東郷村の成田新田が盛んで、青山には製糸工場も開設されました。国道も整備され、電話の導入が始まるなど、地域の産業・文明は着々と向上していきます。

1883年

佐藤彌太右衛門誕生

三川が生んだ育種家



1883~1948。東郷村生まれ。庄内の風土に合った米を作ろうと、稲の品種改良に励み、「イ号」を育成。病気に強く、味も良いため、その後の稲作の発展に大きな成果を残しました。

両田川橋の建設にも尽力したことから
両田川橋は「彌太右衛門橋」ともいわれたよ

1922年

両田川橋完成

1911年
乗合バス登場



渡し場だった押切には
旅館や飲食店が軒を連ねていたよ

この頃、満州に
開拓民として
行く人々もいました



1941年
太平洋戦争勃発

われらが
アトク先生！

阿部徳三郎

1907~1994。庄内有数の大地主・阿部家の生まれ。京都大学、東京大学大学院などを経て戦後は山形大学でドイツ語や農村社会学を教え、「アトク先生」と地域の人々から親しまれました。



昭和初期、関東大震災で疎開していた建築家・宮島佐一郎が阿部徳三郎の住まいとして設計しました。現在は三川町文化交流館として一般公開しています。映画「おくりびと」のロケ地にもなりました。

1928年

三川町文化交流館 アトク先生の館

MAP 18

1904年
日露戦争勃発

1894年
日清戦争勃発

この年
庄内地震が起きて
押切村では
28名が犠牲に

乾田馬耕の導入で
庄内米の収穫が
急速に増加！



昭和時代

昭和恐慌から太平洋戦争へ

関東大震災や世界大恐慌の余波が東北の農村地帯にも広がり、昭和に入ると庄内各地にも貧困が拡大しました。同時に戦時体制も進み、日中戦争が始まった昭和12（1937）年には、押切村で南京陥落の戦勝祝賀会が行われるなど、当初は村々も湧き立ちました。

昭和16年に太平洋戦争が始まると、勤労奉仕や集団疎開の受け入れ、家族の「無言の帰還」などが増加。昭和20年8月の終戦間際には三川の上空にも敵機が襲来し、酒田に爆弾投下が行われるなど、おびえる日々を送りました。

そして終戦。戦後の混乱の最中、農地改革による地主制の解体が進み、多くの小作人が解放され、農民の生活は安定したといわれています。



終戦近くになると
東京からの
学童集団疎開も



昭和30年

「三川」誕生

3つの村が集まって三川村へ

昭和28（1953）年、町村合併促進法が公布。山形県は横山村を鶴岡市に、押切村を藤島町に、東郷村を大山町に合併する計画を立てましたが、それぞれの村の希望と一致しませんでした。その結果、紆余曲折を経て昭和30年に横山村、東郷村、押切村が合併し、東田川郡三川村が誕生。村の名称は、3つの村の集落が赤川、京田川、大山川の3つの川の流域にあることから名付けられました。

三川村初代村長
本間安治



合併記念式典は
横山中学校体育館で
開催しました

「もぐり橋」と呼ばれた三川新橋は
赤川が増水すると沈む、珍しい橋でした。



1961年

もぐり橋 完成

MAP
15

翌年、東郷小中学校と東郷村役場が全焼する大火災が発生。それを機に三川中学校設立に向けた協力体制が広がり、新村に対する旧3村の一体感が生まれました。そして三川中学校建設によって誕生したのが、「もぐり橋」として親しまれた三川新橋です。東郷地区の中学生が赤川を渡るための通学用の橋として昭和36年に完成し、以後平成16（2004）年まで地域の交通を支えました。



祝
西暦1968年

1956年
奥泉光氏
誕生

そして

昭和43年 三川町へ



1956年、三川町生まれ。国際基督教大学大学院修了。1986年「すばる」で小説家デビュー。1994年『石の来歴』で第110回芥川賞受賞。毎日出版文化賞、柴田錬三郎賞など数々の文学賞を受賞しています。

全国的な高度経済成長も伴って、木造の両田川橋がコンクリート製となり、上水道が敷かれ、商工会や農協が発足するなど着々と都市化を進めてきた三川村。鶴岡市と酒田市の中間に位置することから昭和43（1968）年には村内に山形県消防学校が開校し、翌年には庄内支庁（現庄内総合支庁）も開庁しました。町制施行を望む声も高まり、地方自治法に定められた町としての条件も整っていたことから、昭和43年、三川村は庄内の中央にある自治体としての役割を将来に渡って担うべく三川町となりました。

町になって変わったことは？

↓町民主体の「地域づくり」が始まりました

新三川町は、町民が主役の町づくりを進めるため、町制スタートの翌年には、町内の全世帯（1824世帯）にアンケート調査「活力ある地域づくりに関する意識調査」を実施。72・8%という高い回収率となりました。

この調査を踏まえ、町は昭和47（1972）年に三川町振興計画を策定。この計画を基に、住民参加の活力ある地域づくりを進めていきました。

昭和30年代、酪農農家と養豚農家、激増！



1963年
三川村全域に水道が通る

1961年
三川村商工会発足



1965年
三川村合併10周年で
村章を制定

1968年

山形県消防学校 開校

MAP 13

1969年

山形県庄内支庁 開庁
（現山形県庄内総合支庁）

MAP 21

1970年
米の減反政策が開始

1973年

公設庄内青果物
地方卸売市場が営業開始

MAP 31

1978年

町の花「菜の花」制定
町の木「けやき」制定

1979年

三川町農村環境改善センター
（現三川町公民館）完成

MAP 19

1980年

三川町商工会館完成
町民グラウンド完成

MAP 10

MAP 19

昭和50年代

町民をつなげる

町のまつり、スタート

地域づくりのひとつが、まつりの開催です。その第1弾となった「夏まつり」は、昭和54（1979）年に農村環境改善センターのオープン記念として、三川町商工会主催で行われました。三川音頭や花火大会などとても盛り上がり、町内外はもとより国際交流の場にもなりました（平成16年に終了）。

昭和58（1983）年、「菜の花まつり」がスタート。昭和53年に町制10周年を記念して制定された町の花「菜の花」をアピールして、町の観光や産業振興につなげるのが目的でした。第1回は赤川河川敷の菜の花栽培地を会場に、菜の花観賞会や写生大会が行われ、写真撮影会では町内出身の女性たちが「菜の花むすめ」としてモデルとなりました。

ふるさとネットワーク

この頃、県外在住の三川町出身者との交流が進み、昭和59年に「広報みかわ県外版」を創刊。お米や地元の特産物を詰め込んだギフトセットを全国の希望者に届ける「おらほの米と味だより」事業が始まりました。翌年には首都圏で「望郷みかわ会」が、さらに翌年には「北海道みかわ会」が発足。ふるさと三川をつなぐネットワークが広がりました。

1984年

「おらほの米と味だより」
発送スタート



初代
菜の花むすめたち



1983年
菜の花まつり

現在もゴールデンウィークに開催。庄内一円のグルメが楽しめるキッチンカーが集合し、菜の花むすめ撮影会や子ども向けイベントを開催しています。

菜の花むすめは
2025年で
第42代！



菜の花むすめは、三川町と庄内地方の観光大使として1年間さまざまなPR活動をします。

高卒で仕事を始めた年に「社会勉強をしてこい」と会社から業務命令があり、菜の花むすめになりました。30年を経てまさか娘もなるとは思っていませんでした。お互い貴重な体験をさせていただいたと思います。（涼子）父から声がかかって、母と2代にわたって活動することができました。なかなか経験できることではないので、生涯忘れられない思い出になると思います。（りん）



第4代
第35代

1982年

三川町役場新庁舎完成

MAP
19

1981年

町民体育館完成

MAP
10

昭和62年 菜の花むすめ
高橋 涼子 さん
平成30年 菜の花むすめ
高橋 りん さん

1986年

中高生ボランティアサークル「来夢来人」活動スタート



広報みかわ (昭和 61.6.15 発行)より

この始まりは 1985年11月、海浜青年の家で開催された研修会に参加して、他町村の仲間がいろいろな活動をしていることを知ったことでした。私たちも負けじと、毎週土曜日福祉センターで子どもたちの遊びの世話を始めました。後輩のみなさん! あなたも楽しい夢を見れるよう「来夢来人」にぜひどうぞ!

広報みかわ (昭和 61.6.15 発行)より

今も続いているよ



方言坊や誕生!

1986年

三川トピア創造委員会 発足
いろり火の里構想スタート

1987年

第1回全国方言大会 開催



町民体育館で開催された第一回には、タレントの伊奈かついさんや NHK アナウンサーの相川浩さんらがゲストとして参加。三川町を含む7県の参加者がお国ことばを披露しました。

押切小学校
新校舎完成

MAP 23

1989年
三川町に温泉が湧出



1990年
なの花温泉
田田オープン

MAP 9

1991年
宿泊研修施設
昔屋 オープン

MAP 9



私は第4回から方言大会に関わりました。大会を運営していた三川トピア創造委員会は誰の意見にも耳を傾けるし、何気ないアイデアも実現するし、とてもやりがいのある活動でした。何より楽しかったのは、全国の出場者や方言を研究する大学関係者など多様な方々と触れ合えたこと。今、三川町が「子育てしやすい住みよい町」になれたのも、独立した町として「町民の一人一人の顔が見える町」になっているのも、この時代に皆で町の未来について真剣に考えたからだと思います。

第4代三川トピア創造委員会 委員長 菅原 雄一 さん

昭和60年代

画期的な町おこしイベント
「全国方言大会」開始

昭和61(1986)年、「今後の町づくり」に若者の意見を反映したい」という原田二郎町長の依頼を受け、町内の若者たちが「三川トピア創造委員会」を発足。意見交換を重ねて「いろり火の里構想」を立ち上げ、翌62年、「方言で町おこしを」を合言葉にした第1回全国方言大会を開催しました。

全国各地のお国ことばを披露するこの大会は、「方言を通して忘れられつつあるふるさとの文化について考える契機となった異色のイベント」として高く評価され、全国的な注目を集めました。平成15(2003)年まで毎年開催され、この大会を機に始まった首都圏の大学による方言調査が続くなど、その影響は今に続いています。



1994年
テネシー州
マクミンビル市と友好都市へ

1992年
べにばな国体成年男子二部
サッカー会場になる

平成前半

ふるさと創生事業スタート

「いろり火の里構想」実現へ

平成元（1989）年、全国の自治体に1億円が交付される「ふるさと創生事業」が始まりました。三川町では町民から170余りのアイデアを募集し、いろり火の里構想のシンボルとして平成2年に「**なの花温泉田田**」を建設。翌年には宿泊研修施設「昔屋」も増設しました。

折しも同じ年、以前から計画されてきた**庄内空港**が三川町の隣接地に開港。酒田と鶴岡を結ぶ**三川バイパス**の工事も始まり、平成8年には部分的に供用が開始されました。

この状況を受け平成9年、三川町は**観光協会**を発足。庄内だけでなく県外からの交流人口の増加も目指し、田田の隣接地を大規模に整理し、平成12年、複合施設「いろり火の里」と道の駅「庄内みかわ」をオープンしました。昭和61年に生まれ、足掛け14年をかけた「いろり火の里構想」の完成でした。



MAP 9
2000年
いろり火の里オープン

MAP 9
2000年
道の駅庄内みかわオープン

MAP 13
1998年
山形県防災学習館開館

MAP 30
1996年
おぼこ大橋完成

1998年

1996年

1997年
三川町観光協会発足
横山小学校
新校舎完成

MAP 4

1999年

ショッピングセンター
ラコス開店

MAP 9

アトク先生の館開館

MAP 18

2001年

屋内多目的運動施設
「アスレなの花」
オープン

MAP 12



人工芝が敷設されたアリーナのほか、トレーニングルームやパークゴルフ場を併設した全天候型のスポーツ施設です。

2001年

MAP 26

現イオンモール三川オープン

2003年

国道7号三川バイパス
全線開通

2005年

MAP 27

アクロスプラザ
三川オープン

MAP 28

ル・パーク
みかわオープン

2006年

MAP 28

産直みかわ開店

当時イオンの建設地が決まると、その南側に県の行政機関が、界隈に住宅団地が開発されるといった話も浮上し、古くから農村地帯だった猪子集落は巨大商業地帯に様変わりすると思いました。しかしその後の調整で今の形へ。それでも土日になると各地からの買い物客でにぎわうようになり、新たな住宅地も増え、猪子界隈はこの20数年で大きく変わりました。地域の高齢者にとっても不便なく買い物に行けるので、商業施設にはこれからも頑張ってください。



平成13年度猪子町内会副会長
菊池 繁 さん



2001年

みかわ保育園・幼稚園開園

MAP 24

2004年

田田大橋完成

MAP 16

東郷小学校新校舎完成

MAP 22

2008年

みかわまち納涼祭
スタート

いろり火の里周辺にて毎年8月後半に開催。ビアガーデンとステージパフォーマンス、こどもまつりを開催。町外の人も大歓迎!



2010年

三川中学校新校舎完成

MAP 11

2011年3月
東日本大震災



みかわん誕生!

2017年

田から宝もの一品開発事業で町オリジナル日本酒づくりスタート

2018年

日本酒「穂のかおり」完成



右の瓶は2021年発売のリニューアル版

平成 後半

平成の大合併の激動を経て自立の道へ

地方分権が求められる中、平成11(1999)年に「平成の大合併」が全国的に始まると、そのうねりは庄内にも押し寄せ、平成14年、庄内南部の7市町村(三川町、鶴岡市、藤島町、羽黒町、榊引町、温海町、朝日村)による合併協議会が設立されました。

以後、三川町は庄内南部合併に向けて動いたものの、合併に対する賛成・反対の議論が大きくなり、町を二分する運動に。町議選挙、町長選挙を経て、最終的には自立の道を歩むことになりました。

町が大きく揺れた合併問題でしたが、結果的に町民みんながこれからの町のあり方について真剣に考える出来事となりました。



MAP
20

2020年

子育て交流施設
「テオトル」
オープン

子育て支援機能、学童保育機能、地域交流機能を有する3つのエリアを併せた複合施設。子どもからお年寄りまで集える場所です。



赤川河川敷に芋煮会などができる休憩広場、自由に利用できるグラウンドなどが整備されました！

赤川河川緑地ふれあい広場
「パルク赤川」完成

MAP
17
2022年

2019年
「イ号彌太右衛門」完成

2020年
新型コロナウイルス
感染症でロックダウン

2022年
日本酒「IGO」完成



令和時代

利便性が高く、暮らしやすい、おらほの町

平成に入り、交通の利便性が増した三川町は、お城のようになった横山小学校近くや、大型ショッピングセンターを中心とする一大商業エリア周辺に住宅地ができるなど、新しいまちができて近隣市町から移住する人も増えました。令和時代に入ってから、子育て交流施設「テオトル」とふれあい広場「パルク赤川」が誕生し、

唯一無二の町なのです。
なかなかやるじゃん、三川町。

近くに造成された住宅地に子育て世帯が集まるなど、新たな町が増えて活気が生まれています。

私たちが「何も無い」と思ってきた三川町は、観光地はあまりないけれど、庄内地方の真ん中としての歴史があって、海も山にもどこにでもすぐに行けて、買い物も不自由なくできて暮らしやすい、

三川町は
おらほの町



2024年9月、町のおすすすめスポットを教えてください
「あなただけのイチオシ」を町民に募集しました。
 みんなのみかわの三川愛♥から見る
 現在の三川町を徹底解剖！

たくさん応募
ありがとう！



応募いただいたコメントは
こちらにすべて公開中→

なかなか 三川町

町の自慢、集めました

- は P3~14 で紹介している名所や施設
- は P17~21 で紹介している飲食店や施設

庄内町

月山と鳥海山の眺め

イオンモール三川

映画館もあってゲームセンターもあって
買い物もできて楽しくて便利

飛行機が飛ぶ姿を 間近で見れる

庄内空港 IC

土地がいい 庄内平野のまんなか

公設庄内青果物
地方卸売市場

田んぼのあぜ道

景色を見ながら散歩をして
いと心がほっこりする

空の広さと空の青さ

高い建物や山がないからこそ、
空がより広く、より青くみえま
す。特に春先は青空が澄み渡り
住んでてよかったですと実感します。

テオトル

新しくできてきれい！
天気が悪くても遊べる！

両田川橋

四季折々の風景に赤い橋
が映る景色が三川らしい

東郷小学校 22

山形県庄内総合支庁 21

割烹はらだ
ら〜めんはらだ
茂一そば 9

12 すとらーめん

11 豚串・焼肉ぶーちゃん

8 ビストロ・デ・ボン

23 押切小学校

P20で
PICK UP

P20で
PICK UP

福祉センター
(社会福祉協議会)
集まりやすいし、い
ろいろな集まりが
あって楽しめます。

酒田市

庄内空港

京田川

29 ケンちゃんラーメン三川店
28 ル・パークみかわ
産直みかわ

17 Kitchen Aizu
16 丸喜製麺所

15 patisserie 幸栄堂

14 斎藤製麺所

13 遊・ゆうパークランド

24 みかわ保育園・幼稚園

31 公設庄内青果物
地方卸売市場

30 おばこ大橋

27 アクロスプラザ三川

26 イオンモール三川

25 両田川橋

23 押切小学校

12 すとらーめん

11 豚串・焼肉ぶーちゃん

8 ビストロ・デ・ボン

23 押切小学校

P20で
PICK UP

P20で
PICK UP

福祉センター
(社会福祉協議会)
集まりやすいし、い
ろいろな集まりが
あって楽しめます。



空の広さ

赤川土手の桜並木

四季折々の田んぼの景色

見晴らしのよさ

菜の花

景色の美しさ

子育てしやすい
住みよい町

集まった町民の
声から分析する

いなな
いなな
町か



寄せられた声で圧倒的に多かったのが、景色の美しさ。三川町は山形県内で唯一山がなくて、高い建物もないため、空と大地がどこまでも続く景色が見られます。その大地に広がるのが、四季に依じて変化する田園風景。夕焼け色に染まる空や水田の幻想的な美しさ、春になると町のあちらこちらに咲く桜や菜の花の色彩と、白く輝く鳥海山・月山とのコラボレーションなど、時や季節と共にさまざまな表情を見せる三川の景色は、町の宝です。

庄内地方の真ん中にある三川町は、海、山、空港など、どこに行くにもアクセスが抜群です。加えて町内には、主婦の味方である新鮮野菜や手作り惣菜が豊富に並ぶショッピングセンターラコスや物産館マイデル、産直みかわがあり、日用品や食料品がそろって映画館も飲食店もある大型ショッピングモールもあるため、買い物には不自由しません。どこにでもすぐに行けて、買い物もしやすい三川は、暮らしやすく便利な町なのです。



鶴岡にも酒田にもすぐに行ける

マイデル

ラコス

アクロスプラザ三川

生活の利便性

空港が近い

産直みかわ

ル・パークみかわ

イオンモール三川

袖東公園

町民体育館

パルク赤川

遊・ゆうパークランド

イオンシネマ三川

田田の温泉と宿

かっぱつ広場

テオトル

わんぱく広場

レジャー・憩いの場



町民一人一人の顔が見える町

景色、利便

性ときたら、次は生活に潤いを与える「レジャー」です。まず挙げられるのが町民ならほぼ無料で借りて運動ができる町民体育館。黄金色の湯が特徴の「なの花温泉 田田」もいつもにぎわっています。すぐ近くのわんぱく広場は親子連れに大人気。さらに近年は天気に関係なく子どもが遊べる「テオトル」と、芋煮会やデイキャンプなどの屋外レジャーを楽しめる「パルク赤川」も誕生し、「暮らしやすく楽しい町」に磨きをかけています。

町の魅力
ポイント
4

子育て世代

の移住が増えている近年。三川町では子どもたちが健やかに育つように、幼少期の子育て支援と学童・青年期の教育環境の充実に力を入れています。そのためか町民からは小学校や中学校を誇る声も多く寄せられています。生涯学習活動や芸術文化活動も活発で、福祉センターには生き生きと活動するたくさんの高齢者の姿が。各神社の祭礼行事も大切に継承されるなど、教育や伝統文化を尊重する風潮が町に根づいています。



アトク先生の館

三川中学校

押切小学校

三川町公民館図書室

東郷小学校

社会福祉センター

横山小学校

文化・教育の質



自慢ポイント Part 1



三川にもおいしいお店
なかなかあるよ

あんこが
なめらかで
大好き

つきだての
お餅が
おいしい

雑煮や
おしるこ
かき氷を
イートインで
楽しめる！

土曜限定の
いとこ煮も
おすすめ

どれも
食へても
最高

約40年前から愛されるお餅屋さん

P15 ② 大井餅や

三川町横山字横山 220

0235-66-2050

営業 / 水曜～日曜 9:00～17:00

甘味処 11:00～15:00



庄内産もち米でつくるお餅と赤飯が人気のお店。お餅は中にあんが入った大福タイプで、白餅や草餅の他、庄内名物とち餅や三川町らしい菜の花餅などがあります。風情ある店内には甘味処もあり、雑煮とあんこ餅の「汁餅セット」といった食事系から、おしるこなどの甘味系までその時々でイートインできます。お餅は夕方には完売しちゃうことが多いので、お買い求めはお早めに。



お店が
とにかく
おしゃれ

甘党天国

いつ行っても
新商品がある

ケーキも
シエイクも
なんでも
おいしい！

クッキーや
マカロンも

ワクワクする

まるでフランス！のようなお菓子屋さん

P16 ⑮ patisserie 幸栄堂

三川町押切新田街道表 187

0235-66-3841

営業時間 / 9:30～18:30 (日曜は～18:00)

定休日 / 火曜・水曜 (変更の場合あり)



町を代表する銘菓「けやき」(P22に紹介)で知られる洋菓子店。三川のシンボル・赤い両田川橋のたもとにあり、近年はフランスの小さなお菓子屋さんのようなメルヘンなインテリアと、すべてにおいて可愛い洋菓子で話題のお店となっています。特に4月～10月販売の特製シエイクは大人気。月ごとに新メニューが登場するので何度でも楽しめます。詳細はインスタを要チェック。

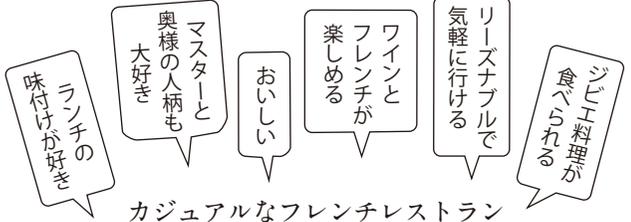


まずは町民の声が
多かったこちらから



集まった
町民の声でみる

三川のお店の



カジュアルなフレンチレストラン

P16 ⑧ ビストロ・デ・ポン

三川町押切新田桜木 23-9

0235-66-3523

営業 / 11:30~13:30(L.O) 17:30~19:30(L.O)
ディナーは予約制 / 水曜定休



三川のフレンチレストランとして庄内ではお馴染みのお店。ランチは気軽にセットメニューを、夜は本格コース料理とワインが楽しめます。近年はオーナーシェフがフランス修業時代に親しんだジビエ料理を、北海道食材を使って提供中。地元環境保全活動を応援するメニュー「ほとりあ湿地保全ランチ」では、ウシガエルとアメリカザリガニの絶品グルメが楽しめます。ぜひお試しあれ。



オールマイティな町の居酒屋さん

P16 ⑩ 豚串・焼肉ぶーちゃん

三川町押切新田対馬 356-1 080-8135-4035

ランチ / 水曜・木曜・金曜 11:30~14:00
居酒屋 / 火~金 17:30~22:00 土日 16:30~22:00
(予約状況で時間変更あり)



和洋中とあらゆるジャンルで腕を磨いてきた店主が、「地域の皆さんに喜ばれるお店を」と2023年11月にオープン。秋田のブランド豚「ほろよいとん」の豚串を看板メニューに、刺身からスイーツまで多岐にわたる料理で、あつという間に町民から愛されるお店となりました。地元の米粉パンを使ったハニートーストも大人気。ポリューム満点のランチやテイクアウトもおすすめです。



こっちのお店も
みんな大好き！

三川のお店の 自慢ポイント Part2



ラーメン

P15 ① 麺絆 英

つけ麺もラーメンもおいしい
向上心をいつも感じる！

P15 ④ ラーメンツバサ

ショッピングセンターラコス内

買い物ついでに食べられる
マーボーラーメンがいちおし

P16 ⑩ ら〜めんはらだ

辛味噌ラーメンが秀逸！
納豆ラーメンも好き

P16 ⑫ すとうらーめん

安定の味、まぜそばが好き

P16 ⑱ ケンちゃんラーメン三川店

いつ行ってもおいしい

P16 ⑳ めん蔵イオン三川店

イオンモール三川内

どれもおいしいけれど
新野菜味噌ラーメンが好き

P16 ㉓ よこはま軒三川店

アクロスプラザ三川内

丁寧に仕込まれた家系ラーメン



洋食

P16 ⑰ Kitchen Aizu

静かで落ち着く、ソースが絶品
料理からデザートまでどれもおいしい

P16 ㉓ COCO'S 山形三川店

アクロスプラザ三川内

デザートなどメニューが豊富

P16 ㉔ ニューヨークニューヨーク

ル・パーク三川内

陽光の中のおしゃれランチ
ハンバーグがおいしい

和食・食堂

P15 ③ 三川寿し福仙

寿司もおいしいし、カツ丼もおすすめ！

P15 ④ 物産館マイデル

名物！鴨でんでん（里いも団子）

P15 ⑤ お食事処いろり火

あんかけラーメンがうまい！

P15 ⑤ 和食処なな味

四季折々の料理がおいしくて、値段も手頃

P15 ⑥ 味の店 柚子庵

おふくろ料理に胃袋をつかまれます

P16 ⑩ 割烹はらだ

昼はラーメン、夜は友人とお酒＆料理に舌鼓
スタッフさんの人柄が温かい

P16 ㉒ 南部家敷

イオンモール三川内

手仕込みとんかつがおすすめ！

P16 ㉓ お好み焼 道とん掘 三川店

アクロスプラザ三川内

作るのも楽しい
お好み焼きワールド！

そば・麦切り・うどん

P16 ⑨ 茂一そば

麦切りがいちおし
子ども連れでも入りやすく落ち着きます

P16 ㉔ 産直みかわ

肉うどんがホッとする
飽きのこない味



おらほの特産品・土産

- 目録 -



三川町といえは
庄内米

通 年



キラリボシの
菜種オイル!

通 年



甘みが強い菜花
キラリボシ

4~5月



野菜

季節ごと

庄内柿

10~11月



メロン

6~7月



**庄内
おこし**

通 年



椎茸

通 年



銘菓けやき

通 年

patisserie 幸栄堂
(P19) にて製造販売

塩や勝じのただちやが
作った自慢の塩セット

塩

通 年



麦のお茶

通 年

三川町産 /



丸喜製麺所

P16 **16**

製麺

通 年

斎藤製麺所

P16 **14**



お求めは

物産館マイデル
P15 **9** いろり火の里内

産直みかわ
P16 **28** ル・パークみかわ内

ふるさと
納税



東京～三川町への主要アクセス

✈️ 空路 (ANA1日4～5便運行) ※期間によって異なります

羽田空港 → 約60分 → 庄内空港 → 車で約10分 → 三川町

🚆 JR (新幹線 + 特急)

① JR東京駅 → 上越新幹線 約120分 → JR新潟駅 → 羽越本線 約120分 → JR鶴岡駅 → 車で約15分 → 三川町

② JR東京駅 → 山形新幹線 約210分 → JR新庄駅 → 車で約60分 → 三川町

🚌 高速バス (夜行) ※予約: 庄内交通 0234-24-7600

東京 → 約7時間50分 → 鶴岡エスモール → 車で約15分 → 三川町

🚗 車 (高速道路利用)

① 東京 → 東北自動車道 約4時間 → 村田 JCT → 山形自動車道 約2時間 → 鶴岡 JCT → 日本海東北自動車道 約10分 → 庄内空港 IC → 一般道約13分 → 三川町

② 東京 → 関越自動車道 約3時間40分 → 長岡 JCT → 北陸自動車道 約40分 → 新潟中央 JCT → 日本海東北自動車道 (一般道含む) 約2時間40分 → 庄内空港 IC → 一般道約13分 → 三川町



三川町の宿泊先 & 温泉

いろいろ火の里 田田の宿

宿泊者専用の天然温泉と日帰り温泉
大浴場をご利用できます



ネット予約もできます

〒997-1301

山形県東田川郡三川町大字横山字堤 172-1

【予約】0235-66-5300

なの花温泉 田田

泉質の異なる2本の源泉の岩風呂と
石風呂を男女日替わりで楽しめる
日帰り温泉施設です



〒997-1301

山形県東田川郡三川町大字横山字堤 172-1

電話: 0235-66-4826

三川町の観光情報発信

三川町観光協会

〒997-1301

山形県東田川郡三川町大字横山字西田 85 番地 (三川町役場 2 階産業振興課内)

電話: 0235-66-4656 (平日 8:30~17:15) FAX: 0235-66-3138



三川町観光協会
ホームページ



三川町観光協会
Instagram

三川町土地開発公社

住宅地や産業団地の造成を進めています

0235-66-3111 (三川町役場代表/平日 8:30~17:15)

最新の住宅地分譲情報や
産業団地情報を発信!



三川町ふるさと応援寄附金 (ふるさと納税)

産業振興課 商工観光係 (ふるさと納税担当)

0235-35-7014 (平日 8:30~17:15)

ふるさと納税ポータル
サイトからの寄附申し込み



三川町役場 企画調整課企画調整係 (2025年2月発行)

〒997-1301 山形県東田川郡三川町大字横山字西田 85 番地

電話: 0235-35-7013 (8:30~17:15) FAX: 0235-66-3138

休業日 / 土日祝・年末年始 e-mail: kouhou.m@town.mikawa.yamagata.jp

